にちじょう せい かつ もち ど き おお くら きょくたん

日常の生活で用いられる土器の大きさと比べて極端に小さな土器は「ミニチュア土器」と呼ばれ、口径が約 10cm 以下のものです。

あ ひょう く い せき ねん ど じ ちょう さ

この小さな土器の形は深鉢・浅鉢・注口土器や台付鉢、壺などに似せて作られているものなどがあり、特に底に足が4つついていたであろう特殊なものも出土しました。これらは、日常で使われていた土器とするには小さすぎることから、お祭りやお祈りのときに使われたもの、または子供のオモチャなどさまざまな使われ方が推測されています。

